

市民俳歌柳壇

毎月20日で締め切り、締め切り日
の翌翌月の広報うつのみやで入選
作品を発表します。

特選

息災を願ふ夏越の大祓

立伏町 大樹 龍五郎

●特選の選評

6月30日は、新年から数えて
ちょうど半年、1年の折り返し点である。作者
は「無事健康に半年が過ぎた。残るあと半年、
どうぞ健やかに毎日を過せませう」と、夏
越の大祓（毎年6月みそかに行われる大祓の神
事）に参列するため神社に参詣した。私も毎
年、二荒山神社（下野国一之宮）の茅の輪く
ぐりに参列している。今年の夏越祓はチガヤが
青々として、太く大きく立派に飾られていた。

俳句



加茂都紀女先生

入選

陽のにはひ残る日傘をたたむ妻

野沢町 渡辺 明広

四角四面ビルの隙間に日照草

下栗町 大塚 榮子

奥社まで言葉少なき木下閣

南町 濱野 洋子

うつむくや四葩の毬の重たさに

さつき3丁目 和田 悦子

特選

万太郎さん教えておくれ葉裏まで
棘ある草の名前はなかに

西原2丁目 久保川 賢一

●特選の選評

NHK朝の連続テレビ小説
「らんまん」の中で、植物学者の牧野富太郎
をモデルとした横野万太郎への呼び掛け。作
者は棘ある手の掛かる草取りをしている。「棘
ある草の名前はなかに」と、牧野富太郎の言
葉「雑草という名の草はない」が心中にあり、
私の取っている草にも名があるはずだと言わ
せた。「万太郎さん」教えておくれ「名前
はなかに」優しい親しみのある一首である。

短歌



安野登美子先生

入選

緑濃き芝生に立ちて足裏より
たしかめてみる地球の鼓動

大曾5丁目 岩淵 照美子

病室の窓から見えるキジバトの
求愛の声悲しからずや

花園町 小林 秀行

紫陽花はゆつくり色を消してゆく
くちなしの白急ぎ汚れる

野沢町 鈴木 孝男

スイカ割り狙いが外れ棒折れる
空気が凍り心も折れる

陽南中学校 金子 凌大

特選

AIに作文書かす夏休み

中岡本町 中沢 智子

●特選の選評

AIの進歩には凄まじいもの
がある。そして、その進歩の先にあるメ
リットとデメリット。夏休みの宿題の作文
などをAIに書かせては子どもの勉強になら
ない。そんな危険もあるAIの進歩に親は目
を配らなければならない時代である。

川柳



佐藤隆久先生

入選

早く鳴れ目覚まし起こす高齢者

弥生2丁目 渡辺 裕子

アナログを引きずり回すナンバー化

岩曾町 川室 正男

出不精に磨きをかけたコロナの禍

下田原町 五十嵐 由美子

午前二時かしまし老いの泊まり旅

八幡台4丁目 羽場 京子

俳歌柳壇の応募方法

- 1人各3句（首）以内。俳句・短歌・川柳の併記は不可。
- 対象は市内在住者で、未発表作品。年齢問わず応募できます。
- はがき表面＝住所・氏名・ふりがな・応募する壇名。
- はがき裏面＝作品（漢字にはふりがなも）・作品への思い。
- 毎月20日までに、〒320-8540市役所広報広聴課☎(632)2028へ。
- WEBによる応募も受け付けます。詳しくは、市☎をご覧ください。

ID 1022877



▲市☎

表

〒320-8540
宇都宮市役所
広報広聴課
住所・氏名・壇名
ふりがな

裏

作品
作品への思い
作品への思い